



# 湖国、滋賀で環境をテーマに成長する企業の真摯な姿勢をハイブリッド塵芥車がアピール。

「燃費アップに正直、驚きました。パワーと耐久力も問題なくこれは良いと確信し、すぐ2台、追加発注しました。」——井之口常務談

「約30年前、琵琶湖に赤潮が発生し、地域に衝撃が走りました。湖を救おうと、人々が立ち上がり日本全国に無リン洗剤が普及する契機となりました。こうした事も手伝い、創業以来、環境事業に携わってきた当社には水や環境を守って行こうという風土があります。」と、語る井之口 哲也様は滋賀県栗東市にある栗東総合産業株式会社の常務取締役(以下、同社、常務)である。同社は、栗東市の委託で廃棄物の収集・運搬や、栗東市環境センター(廃棄物処理施設)の管理運営など、多彩な事業を展開している。中でも、常務が統括するグループ会社の有限会社ヴァンテックは、ベンチャー企業と共同で、環境負荷の小さい製品の商品化に取り組んでいる。これまで触媒を使いカルナバ蠟を水性コート剤にした自動車ワックスのWATER SHIELD®。触媒でガソリンを改質し、

自動車エンジンの燃焼効率を高めるVantech Eco Tuning。業務用厨房設備の油脂汚水を触媒で浄化するグリーストラップ向け浄化システムなどを世に送り出した。

環境に対する感性が高い同社は、2011年11月、中核事業である栗東市の廃棄物収集・運搬にCO<sub>2</sub>排出量が少ない日野デュトロハイブリッドの塵芥車を導入した。第一環境業務課長 井之口 淳一様によると、燃費は、ディーゼル車比で37~42%もアップ。2ペダルで運転できるAMTのお陰でドライバーの負担が軽くなったのが大きいと言う。ハイブリッド塵芥車は、栗東市の環境政策課や市民の評判も良く、地道な仕事と、新しい事業が上手くミックスした多彩な環境ビジネスに取り組む同社のシンボルとして、永く愛されて行くに違いない。

## 栗東総合産業株式会社

住所:〒520-3036 滋賀県栗東市十里244番地  
TEL:077-552-1711(大代表)  
代表者:代表取締役社長 井之口 二三雄  
取材対応者:常務取締役 井之口 哲也  
設立:1962(昭和37)年3月  
従業員数:150人 ハイブリッド車保有台数:4台(日野3台)  
<http://www.ritto.co.jp/>



環境マネジメントシステム  
ISO 14001認証取得  
品質マネジメントシステム  
ISO 9001:2008認証取得  
グリーン経営認証取得

ベンチャー企業と製品の共同開発するグループ会社の有限会社ヴァンテックの業務も担当しておられる  
常務取締役  
井之口 哲也様



メタリック塗装が美しい日野デュトロ ハイブリッド塵芥車。



同社は、廃棄物の収集・運搬、廃棄物処理施設の運営、運輸業、浚渫・土木工事など、総合的な環境ビジネスを展開している。



滋賀日野自動車 栗東支店  
武部裕樹さん  
担当して17年になります。特別な架装をした多くの車両を納めさせて頂いている非常に大切なお客様です。24時間お役に立てるよう日頃から心掛けております。



写真は、同社のCO<sub>2</sub>削減を物語る一例。なお、平成8年から太陽光発電システムを採用し、稼働させておられるそう。



当日、取材にご尽力いただいた第一環境業務課長の井之口 淳一様。



本社オフィスにおられたスタッフの皆様にお集まりいただき撮影した集合写真。